

三旗塾

三旗塾では理論は技術を指導し、技術は理論に確信を与えるという観点から、正確な技術と精度の高い診断に心掛けています。また、ややもすればなおざりにされる治法にスポットを当てて行こうという認識があり、これを**治療デザインの確立**と呼んでいます。この**正確な技術、精度の高い診断、治療デザインの確立**という3つの旗を立てたので三旗塾としました。



2002年に7名の臨床家が集まり立ち上げました。

現在の活動拠点は神奈川県大和市にあるさくら堂治療院です。中医基礎理論、中医病理学、穴性学、針灸各家学説などを研鑽しながら臨床に出るための基礎固めをします。主に中医書を教材に用います。これが大和にある3クラスのひとつである初級クラス（第4日曜）です。何事も基礎は大事です。



後のふたつのクラスは、臨床で感じたことや実際に体験した現象をこの中医理論に落とし込み、理論の精度を上げて行きます。

臨床歴や基礎の理解度により二つに分けています。



大和初級クラス、大阪倶楽部、前橋倶楽部が使う指定教材。

針灸処方学（主編李志道、中国中医薬出版社）

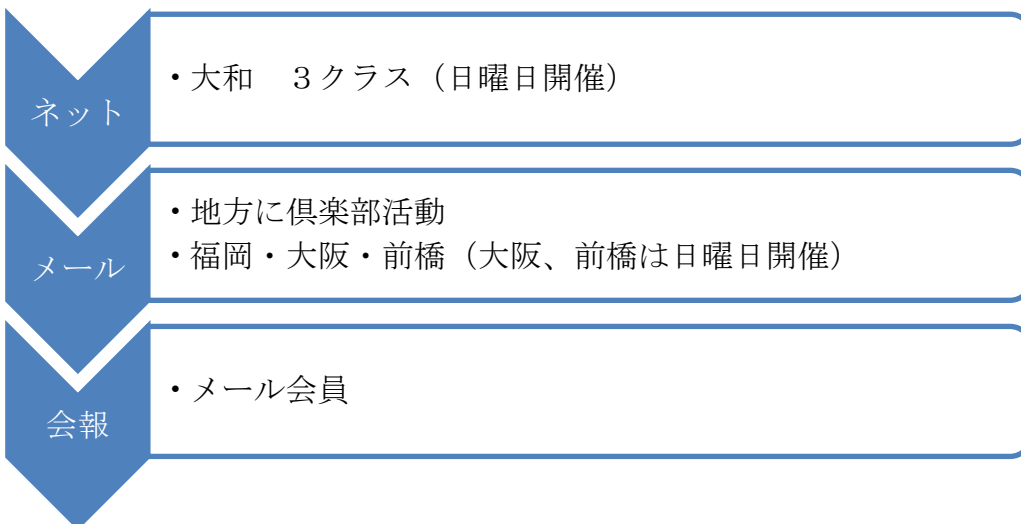


← 中医症状鑑別診断学（人民衛生出版社）

↓ 中医症候弁治規範（人民衛生出版社）



○図式化すると以下のようになります。



現在（2012/9/9）、70名の仲間がおります。大和クラスでは皆が集まりやすい日曜の夕方から2～3時間行います。

また、大阪・福岡・前橋にそれぞれ自主倶楽部があり（大阪、前橋も日曜日開催）、同様の内容で学習しています。なかなか遠くて勉強会には参加できないという方にはメール会員をお勧めします。連絡・質問などはネット、メールにて行い、交流の輪を広げています。年2回の会報（千日会報）を発行します。

会費 大和クラス 年間20000円、要書籍代。講師金子朝彦、金本貴之
自主倶楽部 大阪、前橋、福岡はお問い合わせ下さい。現在実費のみ
メール会員 年間2000円 お問い合わせ slow1slow@k2.dion.ne.jp

○課外授業

不定期ですが講習会を開催します。



⇐漢方薬局見学会
桑榆薬局にて

鍼灸実技講座 →
さくら堂治療院



薬膳講習会 都内某所で



毎年3月第3日曜日に中医オープン講座を開催します。

- | | |
|-------|---|
| 2003年 | 乃一先生(助産師協会講師・福島)「産婦人科弁証」
飯川先生(草木堂院長・静岡)「眼科弁証論治」 |
| 2004年 | 平間先生(コタロー協力会講師・仙台)「本草基礎知識」
李先生(東医針法研究会理事・東京)「痺証弁証」 |
| 2005年 | 清水先生(神奈川鍼灸師会副会長・鍼灸師・神奈川)「臨床の新展開」
山内先生(元都立大久保病院漢方科・東京)「肝臓病の弁証」 |
| 2006年 | 藤井先生(関西中医研・大阪)「中医道具弁証」
北川先生(日本健康美容鍼灸協会・東京)「中医美容」 |
| 2007年 | 齋藤先生(東京衛生学園)「鍼と灸とその他治療法の中医学的活用法」
鎌田先生(東京衛生学園)「明日のための中医学講座 season4」 |
| 2008年 | 梁先生(北京中医薬大学教授)「日朝医学筆談と中医学」
金子先生(三旗塾)「治療デザインについて」 |

- 2009年 戸田先生(トリビウム理事)「スキルアップのポイント」
西田先生(高知大教授)「針灸一穴療法」
- 2010年 邱先生(元北京中医薬大学講師)「BBTの中医学的読み方」
伊藤先生(名古屋医専)「癌患者の鍼灸から見えてきたもの」
- 2011年 地震のため中止
- 2012年 横山先生(森ノ宮医療)「近代日本の歴史・澤田流から経絡治療」
春日井先生(千里鍼灸院)「眼科専門に特化した鍼灸で何ができるのか」

4年毎の海外研修や中医書の買い出しツアー



中日友好病院にて
針灸科、皮膚科研修
総勢19名
中医書の買いつけは計400冊を超える

その他、ソウル研修、厦門研修、万里の頂上を最後まで登るツアーなどがありました。

人間関係が希薄になりつつある現代で、ますます鍼灸の重要性が増してくると思います。
ひとりひとりの臨床家がホスピタリティーな心で、真摯に患者さんに寄り添う、そんな臨床家が市井で活躍する姿を夢見ています。

中医基礎を土台に自分流の鍼灸を追及してゆく姿こそ理想と考えています。

三旗塾 金子朝彦